

平成30年度上半期 医療事故等行為別件数及び障害区分レベル4・5の概要

(1) 医療事故等 行為別件数

平成30年度	レベル	インシデント			
		0	1	2	計
薬剤		67	341	19	427
輸血		0	3	0	3
治療・処置		7	28	11	46
医療機器等		5	23	5	33
ドレーンチューブ		9	46	50	105
検査		54	127	41	222
療養上の世話		62	345	82	489
その他		104	90	8	202
計		308	1003	216	1527

アクシデント			
3	4	5	計
3	0	0	3
0	0	0	0
2	1	0	3
0	0	0	0
2	0	0	2
2	0	0	2
13	0	0	13
0	0	0	0
22	1	0	23

合計 1550

障害区分(レベル)	内 容	
インシデント	レベル0	事故が起こる前に気がついた場合
	レベル1	事故が起こったが、影響がなかった場合
	レベル2	事故により、軽微な処置・治療(消毒, 湿布, 鎮痛剤投与など)を要した場合
アクシデント	レベル3	事故により、処置・治療を要したが、永続的な障害が残らなかった場合
	レベル4	事故により、永続的な障害が残った場合
	レベル5	事故による死亡

(2) 医療事故 障害区分レベル4・5の概要

NO.	レベル	事例の概要および対応	
1	4	概要	左肺静脈縫合ステイプル脱落による出血: 肺癌患者で開胸左肺上葉切除術を施行した。閉創後に血圧低下及びドレーンからの出血を認めた。再開胸し左上肺静脈切離断端部からの出血を確認し縫合止血処置を実施したが、低酸素脳症による遷延性の意識障害となった。
		対応	血管壁の状態に応じ、適宜組織圧センサーを搭載した自動縫合器を使用する。

* 公表については個人情報保護に配慮した内容にしています。